正誤表

○ 中学校　保健体育　20ページ　〔10〕　問１

（誤）

(1) 知識及び技能
　～中略～
○　知識
　～中略～
　　その運動に関して高まる体力では、



（正）

(1) 知識及び技能
　～中略～
○　知識
　～中略～
　　その運動に関連して高まる体力では，

kyosai-guild.jp

7〔中学校　保健体育〕

受験区分	受験番号	氏　　名

〔注意事項〕

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この試験は、コンピュータを利用して採点するため、解答用紙にていねいに鉛筆で記入してください。

3　解答用紙には解答記入欄以外に次の記入があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

（1）受験区分・受験番号欄

受験区分・受験番号（数字）を受験票のとおりに記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。

（2）氏名欄、校種等・教科（科目）欄

氏名・フリガナ及び校種等・教科（科目）を記入してください。なお、校種等・教科（科目）については、受験票のとおりに記入してください。

4　試験時間は60分です。

5　解答は、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。例えば、[1]と表示のある解答番号に対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号[1]の解答記入欄の(3)にマークしてください。

（例）

解答番号	解答記入欄 1 － 20
[1]	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6　解答用紙の解答記入欄は、全部で、[100]まで記入できるようになっていますが、〔中学校　保健体育〕試験の解答番号は１～49ですので、解答記入欄の[50]～[100]は絶対に記入しないでください。

7　どの問題も、解答番号一つにつき解答記入欄にマークできる答えは必ず一つです。二つ以上の番号にマークしたものは採点されません。

8　解答番号のマークを間違えたときは、消しゴムで完全に消してからマークしてください。

9　計算を要する問題は、問題用紙の余白を利用してください。解答用紙で計算しないでください。

10　問題の内容についての質問はできません。

〔１〕「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」及び「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説　保健体育編　体育編（平成30年７月）第１部　保健体育編」に示されている内容について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、球技のネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例について示されているものの一部である。

［ 1 ］、［ 2 ］、［ 3 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 1 ］、［ 2 ］、［ 3 ］。

ボールや用具の操作	・サービスでは，ボールをねらった場所に打つこと ・ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールを上げること ・ネット付近でボールの［ 1 ］を防いだり，打ち返したりすること ・腕やラケットを強く振って，ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと ・［ 2 ］の役割に応じて，拾ったりつないだり打ち返したりすること
ボールを持たないときの動き	・ラリーの中で，味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすること ・［ 3 ］のための基本的なフォーメーションに応じた位置に動くこと

中 学 校：第２章　保健体育科の目標及び内容　第２節　各分野の目標及び内容〔体育分野〕　２　内容　E　球技　ネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例　中学校３年

高等学校：第２章　保健体育科の目標及び内容　第２節　各科目の目標及び内容「体育」　３　内容　E　球技　ネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例　中学校３年生　高校入学年次

［ 1 ］の語群

① 侵入　② コース　③ 勢い　④ 変化

［ 2 ］の語群

① 自己　② チーム　③ ポジション　④ 技能

［ 3 ］の語群

① 個人プレイ　② 連携プレイ　③ 勝利　④ 得点

kyosai-guild.jp

問2　次の記述は、教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連について示されているものの一部である。

［ 4 ］、［ 5 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 4 ］、［ 5 ］。

> ウ　教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に，生徒の自主的，自発的な参加により行われる部活動については，スポーツや文化，科学等に親しませ，学習意欲の向上や責任感，連帯感の涵養等，［ 4 ］が目指す資質・能力の育成に資するものであり，［ 4 ］の一環として，教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際，学校や地域の実態に応じ，地域の人々の協力，社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い，［ 5 ］な運営体制が整えられるようにするものとする。

中 学 校：第３章　指導計画の作成と内容の取扱い　３　教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第１章第５の１のウ）

高等学校：第３章　各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い　第３節　総則関連事項　２　教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第１章総則第６款１ウ）

［ 4 ］の語群

①　社会教育　　②　地域教育　　③　学校教育　　④　国際教育

［ 5 ］の語群

①　常識的　　②　永久的　　③　社会規範的　　④　持続可能

kyosai-guild.jp

〔２〕「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和３年５月、令和６年４月追補版）環境省・文部科学省」に示されている内容について、次の問いに答えなさい。

次の記述は、授業日の対応について示されているものの一部である。

［ 6 ］、［ 7 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 6 ］、［ 7 ］。

5.2　授業日の対応

5.2.1　体育、スポーツ活動時の対策

(1) グラウンド・体育館での活動

授業や活動前にグラウンド・体育館などの活動場所で［ 6 ］を測定し、対応を判断します。［ 6 ］は、測定場所・タイミングで異なります。また、授業が始まると測定が疎かになる場合もあります。測定者も含め測定方法を予め設定することが重要です。また、［ 7 ］発表時には測定頻度を高くし、［ 6 ］の変化に十分留意します。

［ 6 ］の語群

① 暑さ指数（WBGT）　② 乾球温度
③ 気温及び湿度　④ 気温、湿度及び気流

［ 7 ］の語群

① 光化学スモッグ警報　② 高温注意報
③ 光化学スモッグ注意報　④ 熱中症警戒アラート

kyosai-guild.jp

〔３〕 「学校における水泳事故防止必携〔2018年改訂版〕独立行政法人日本スポーツ振興センター」に示されている内容について、次の問いに答えなさい。

次の記述は、水泳の安全管理について示されているものの一部である。

［ 8 ］、［ 9 ］、［ 10 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 8 ］、［ 9 ］、［ 10 ］。

Ⅲ 水泳の安全管理

～中略～

３．水泳指導における安全管理

(1) 事前の留意事項

ア．水泳指導のねらいや安全に関する学校の対策について、［ 8 ］に連絡し、理解と協力を得る。

イ．水泳指導の参加が認められない児童生徒等や注意を要する者への配慮について、検討しておく。

ウ．［ 9 ］を行い、昨年度までの泳力や水泳に関する意識等を調べておいて、指導の参考にする。

エ．特に大切な安全上の注意事項を参加者に指導しておく。

オ．事故による被害を最小限に食い止めるため、［ 10 ］対策組織を作り、対応を指導者全員に徹底しておく。また、救急法の講習を行い、実技を通して理解を深めておく。

［ 8 ］の語群

① 近隣住民　② 教職員　③ 保護者　④ 行政

［ 9 ］の語群

① 実態調査　② 指導法検討　③ 現地調査　④ 職員意識調査

［ 10 ］の語群

① 地域　② 救急　③ 保護者　④ 教職員

kyosai-guild.jp

〔４〕　保健分野について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、目標について示されているものの一部である。

［ア］、［イ］、［ウ］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［11］。

> １　目標
> ～中略～
> 保健分野では，生徒が保健の［ア］を働かせて，課題を発見し，その解決を図る主体的・［イ］な学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯を通じて心身の健康を保持増進するための［ウ］を育成することを目指して，保健の知識及び技能，思考力，判断力，表現力等，学びに向かう力，人間性等の三つの柱で目標を設定した。

①　ア　見方・考え方　　イ　対話的　　ウ　思考力，判断力，表現力等
②　ア　見方・考え方　　イ　協働的　　ウ　資質・能力
③　ア　知識及び技能　　イ　協働的　　ウ　思考力，判断力，表現力等
④　ア　知識及び技能　　イ　対話的　　ウ　資質・能力

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、指導計画の作成と内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ア］、［イ］、［ウ］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［12］。

> １　指導計画の作成
> ～中略～
> 〈保健分野の学年別授業時数〉
> 保健分野の学年別の授業時数の配当については，［ア］を通して適切に配当するとともに，生徒の興味・関心や意欲などを高めながら効果的に学習を進めるため，学習時間を［イ］に設定することが望ましいことを示している。
> ～中略～
> ただし，課題学習においては，［ウ］の時間を十分確保するために，次の授業時間との間にゆとりを持たせるなどの工夫をすることも効果的であると考えられる。

①　ア　２学年間　　イ　継続的又は集中的　　ウ　個別最適な学びと協働的な学び
②　ア　２学年間　　イ　年間を通じて均等　　ウ　課題追究あるいは調べる活動
③　ア　３学年間　　イ　継続的又は集中的　　ウ　課題追究あるいは調べる活動
④　ア　３学年間　　イ　年間を通じて均等　　ウ　個別最適な学びと協働的な学び

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、健康な生活と疾病の予防の知識について示されているものの一部である。

［ 13 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 13 ］。

ア　知識

～中略～

(エ)　喫煙，飲酒，薬物乱用と健康

～中略～

㋒　薬物乱用と健康

薬物乱用については，［ 13 ］を取り上げ，摂取によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと，薬物の連用により依存症状が現れ，中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きることを理解できるようにする。

［ 13 ］の語群

①　覚醒剤や大麻　　②　オーバードーズ

③　危険ドラッグ　　④　シンナーなどの有機溶剤

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、健康な生活と疾病の予防の知識について示されているものの一部である。

［ 14 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 14 ］。

ア　知識

～中略～

(オ)　感染症の予防

㋐　感染症の予防

感染症は，病原体が［ 14 ］で起こる疾病であり，適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減することができることを，例えば，結核，コレラ，ノロウイルスによる感染性胃腸炎，麻疹，風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。

［ 14 ］の語群

①　温度，湿度などの自然環境が原因

②　人口密度，交通などの社会環境が原因

③　環境を通じて主体へ感染すること

④　医療機関で予防接種を実施していないこと

kyosai-guild.jp

問５　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、心身の機能の発達と心の健康の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 15 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 15 ］。

ア　知識及び技能

～中略～

(エ)　欲求やストレスへの対処と心の健康

～中略～

㋐　欲求やストレスとその対処

～中略～

ここでいうストレスとは，外界からの様々な刺激により心身に負担がかかった状態であることを意味し，ストレスの影響は［ 15 ］とそれを受け止める人の心や身体の状態によって異なること，個人にとって適度なストレスは，精神発達上必要なものであることを理解できるようにする。

［ 15 ］の語群

①　心理的，社会的な欲求　　②　友人，家族などの人間関係
③　コミュニケーションの能力　　④　原因そのものの大きさ

問６　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、傷害の防止の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 16 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 16 ］。

ア　知識及び技能

～中略～

(イ)　交通事故などによる傷害の防止

交通事故などによる傷害を防止するためには，［ 16 ］に関わる危険を予測し，それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要であることを理解できるようにする。

［ 16 ］の語群

①　人的要因や環境要因　　②　環境要因や車両要因
③　自転車や自動車の特性　　④　見通しの悪い道路や交差点

kyosai-guild.jp

問7　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、健康と環境の知識について示されているものの一部である。

［ 17 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 17 ］。

ア　知識

～中略～

(ｳ)　生活に伴う廃棄物の衛生的管理

人間の生活に伴って生じたし尿やごみなどの廃棄物は，その種類に即して自然環境を汚染しないように衛生的に処理されなければならないことを理解できるようにする。その際，ごみの減量や分別などの個人の取組が，自然環境の汚染を防ぎ，廃棄物の衛生的管理につながることにも触れるようにする。また，［ 17 ］を取り上げ，公共機関の情報を活用した個人の取組が，自他の健康のための衛生的管理につながることにも適宜触れるようにする。

［ 17 ］の語群

① 二酸化炭素の排出による地球温暖化
② 災害による衛生環境の悪化
③ オゾン層の破壊や酸性雨
④ リデュース・リユース・リサイクル

kyosai-guild.jp

〔５〕　体つくり運動について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体つくり運動［第１学年及び第２学年］の知識及び運動について示されているものの一部である。

［ 18 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 18 ］。

（１）知識及び運動

～中略～

○　知識

体つくり運動の意義では，［ 18 ］心と体をほぐし，体を動かす楽しさや心地よさを味わい，進んで運動に取り組む気持ちを高めたり，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めたりするといった意義があることを理解できるようにする。

［ 18 ］の語群

①　自他の心と体に向き合って
②　自己の健康や体力の程度に応じて
③　仲間と積極的に関わり合って
④　適切な強度，時間，回数，頻度などを考慮して

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体つくり運動［第１学年及び第２学年］の知識及び運動について示されているものの一部である。

［ 19 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 19 ］。

(1) 知識及び運動

～中略～

○　**運動**

ア　体ほぐしの運動

～中略～

指導に際しては，これらのねらいを関わり合わせながら，［ 19 ］，心や体の状態を軽やかにし，ストレスの軽減にも役立つなど，自他の心と体の関係や心身の状態を確かめながら学ぶことができるように留意することが大切である。

［ 19 ］の語群

①　知識を習得するだけでなく

②　運動を経験するだけでなく

③　リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して

④　緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体つくり運動［第３学年］の知識及び運動について示されているものの一部である。

［ 20 ］、［ 21 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 20 ］、［ 21 ］。

(1) **知識及び運動**

～中略～

○　**運動**

～中略～

イ　実生活に生かす運動の計画

～中略～

指導に際しては，①ねらいは何か，②［ 20 ］，③どのような運動を選ぶのか，④どの程度の運動強度，時間，回数で行うかなどに着目して運動を組み合わせ，計画を立てて取り組めるようにすることが大切である。

また，一部の能力のみの向上を図るのではなく，総合的に体の動きを高めることで［ 21 ］の向上が図られるよう配慮する必要がある。

［ 20 ］の語群

① 効率のよい組合せやバランスのよい組合せになっているか
② 運動不足の解消や体力の向上につながっているか
③ 誰と，何を使って運動するのか
④ いつ，どこで運動するのか

［ 21 ］の語群

① 実生活に役立つ体力
② 新体力テストの測定値
③ 選択した運動やスポーツの場面で必要とされる体力
④ 調和のとれた体力

kyosai-guild.jp

〔６〕　器械運動について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、器械運動［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 22 ］、［ 23 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 22 ］、［ 23 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**技能**
>
> **基本的な技**とは，各種目の系の技の中で基本的な運動課題をもつ技を示している。［ 22 ］以外の種目では，小学校第５学年及び第６学年で学習される技を含んでいる。
>
> ～中略～
>
> **条件を変えた技**を行うとは，同じ技でも，［ 23 ］を変えて行う，その技の前や後に動きを組み合わせて行う，手の着き方や握りを変えて行うことなどを示している。

［ 22 ］の語群

①　マット　　②　鉄棒　　③　平均台　　④　跳び箱

［ 23 ］の語群

①　開始姿勢や終末姿勢　　②　系や技群

③　器械や器具　　④　ペアやグループ

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、器械運動［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 24 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 24 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**知識**
>
> ～中略～
>
> **運動観察の方法**では，自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察や他者観察などの方法があることを理解できるようにする。例えば，仲間の演技からよい動き方を見付けたり，ビデオなどの映像を通して自己の演技と仲間の演技の違いを比較したりすることで，自己の取り組むべき［ 24 ］が明確になり，学習の成果を高められることを理解できるようにする。

［ 24 ］の語群

①　条件を変えた技	②　発展技
③　技術的な課題	④　技の組合せ

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、器械運動［第３学年］の学びに向かう力，人間性等について示されているものの一部である。

［ 25 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 25 ］。

> **(3) 学びに向かう力，人間性等**
>
> ～中略～
>
> **健康・安全を確保する**とは，器械や器具を目的に応じて使用すること，練習場所の安全を確認しながら練習や演技を行うこと，自己の体調，体力や技能の程度に応じた技を選んで［ 25 ］ことなどを通して，健康を維持したり自己や仲間の安全を保持したりすることを示している。

［ 25 ］の語群

①　無理をしないで練習する	②　段階的に挑戦する
③　互いに助け合い教え合おうとする	④　継続して楽しむ

kyosai-guild.jp

〔７〕　陸上競技について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、陸上競技［第１学年及び第２学年］について示されているものの一部である。

［ 26 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 26 ］。

［第１学年及び第２学年］

陸上競技は，「走る」，「跳ぶ」及び「投げる」などの運動で構成され，記録に挑戦したり，相手と競争したりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

小学校では，低学年の「走・跳の運動遊び」，中学年の「走・跳の運動」，高学年の「［ 26 ］」で幅広い走・跳に関する運動の動きの学習をしている。

中学校では，これらの学習を受けて，陸上競技に求められる基本的な動きや効率のよい動きを発展させて，各種目特有の技能を身に付けることができるようにすることが求められる。

［ 26 ］の語群

① 陸上運動　　② 陸上競技運動
③ 走・跳・投の運動　　④ 陸上競技に準じた運動

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、陸上競技［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 27 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 27 ］。

(1) 知識及び技能

～中略～

○ **知識**

～中略～

その運動に関連して高まる体力では，陸上競技は，それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解できるようにする。例えば，陸上競技を継続することで，短距離走や跳躍種目などでは主として［ 27 ］，長距離走では主として全身持久力が各種目の動きに関連して高められることを理解できるようにする。

［ 27 ］の語群

① 瞬発力や巧緻性　　② 巧緻性や筋力
③ 筋力や敏捷性　　④ 敏捷性や瞬発力

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、陸上競技［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 28 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 28 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**技能**
>
> ～中略～
>
> **ウ　ハードル走**
>
> ～中略～
>
> 〈例示〉
>
> ・スタートダッシュから１台目のハードルを勢いよく走り越すこと。
>
> ・遠くから踏み切り，振り上げ脚をまっすぐに振り上げ，ハードルを低く走り越すこと。
>
> ・インターバルでは，［ 28 ］のリズムを最後のハードルまで維持して走ること。

［ 28 ］の語群

①　３歩　　②　３又は５歩　　③　５歩　　④　３歩から７歩

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、陸上競技の内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ ア ］、［ イ ］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 29 ］。

> **内容の取扱い**
>
> ～中略～
>
> (イ)　陸上競技の運動種目は，競走種目（短距離走・リレー，長距離走又はハードル走）から［ ア ］を，跳躍種目（走り幅跳び又は走り高跳び）から［ イ ］をそれぞれから選択して履修できるようにすることとしている。特に，第３学年では，これらの中から自己に適した運動種目を選択できるようにするとともに，第１学年及び第２学年の学習を一層深められるよう配慮することが必要である。

①　ア　一つ　　イ　一つ
②　ア　二つ　　イ　二つ
③　ア　一以上　　イ　一以上
④　ア　二以上　　イ　二以上

kyosai-guild.jp

〔８〕　水泳について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、水泳［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［30］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［30］。

> **(1) 知識及び技能**
> ～中略～
> ○　**技能**
> ～中略～
> **ウ　背泳ぎ**
> ［30］**泳ぐ**とは，リラックスした背浮きの姿勢で，手と足の動作と，呼吸のタイミングを合わせて泳ぐことである。
> 指導に際しては，背泳ぎの距離は，25～50m程度を目安とするが，生徒の体力や技能の程度などに応じて弾力的に扱うようにする。

［30］の語群

①　バランスをとり	②　力強く
③　余分な力を抜いて	④　安定した推進力を得て

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、水泳［第１学年及び第２学年］の学びに向かう力，人間性等について示されているものの一部である。

［31］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［31］。

> **(3) 学びに向かう力，人間性等**
> ～中略～
> **分担した役割を果たそうとする**とは，練習や競争を行う際に，用具の準備や後片付けをしたり，タイムを計測したりするなどの分担した役割に積極的に取り組もうとすることを示している。そのため，分担した役割を果たすことは，［31］の確保につながることや仲間同士の人間関係がよくなることにつながることを理解し，取り組めるようにする。

［31］の語群

①　スムーズな授業の進行	②　水の中にいる時間
③　活動時間	④　振り返り時間

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、水泳［第３学年］の思考力，判断力，表現力等について示されているものの一部である。

［ 32 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 32 ］。

> **(2) 思考力，判断力，表現力等**
>
> ～中略～
>
> **自己の考えたことを他者に伝える**とは，自己や仲間の課題について，思考し判断したことを，言葉や文章などで表したり，他者にわかりやすく伝えたりすることを示している。
>
> ～中略～
>
> 指導に際しては，第３学年においては，習得した知識を基に，よりよい解決方法を比較したり，活動を振り返ったりするなどによって，［ 32 ］する活動の提示の仕方を工夫することが大切である。

［ 32 ］の語群

① 自己や仲間の課題を発見　② 学習成果を分析
③ 合理的に運動　④ 効率的に思考

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、水泳［第３学年］の学びに向かう力，人間性等について示されているものの一部である。

［ 33 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 33 ］。

> **(3) 学びに向かう力，人間性等**
>
> ～中略～
>
> **など**の例には，互いに助け合い教え合おうとすることがある。これは，練習の際に，互いに補助し合ったり，［ 33 ］などを通して仲間の課題を指摘するなど教え合ったりしながら取り組もうとすることを示している。そのため，互いに助け合い教え合うことは，安全を確保したり，課題の解決に役立つなど自主的な学習を行いやすくしたりすることを理解し，取り組めるようにする。

［ 33 ］の語群

① 動作分析　② 運動観察　③ 課題解決学習　④ 教え合い活動

kyosai-guild.jp

〔９〕　球技について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、球技［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 34 ］、［ 35 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 34 ］、［ 35 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**技能**
>
> ～中略～
>
> **ウ　ベースボール型**
>
> ～中略～
>
> 第１学年及び第２学年では［ 34 ］を重視し，易しい投球を打ち返したり，［ 35 ］で守ったりする攻防を展開できるようにする。
>
> 指導に際しては，易しい投球を打ち返したり，［ 35 ］で守ったりする攻防を中心とした学習課題を追究しやすいようにプレイヤーの人数，グラウンドの広さ，用具，プレイ上の制限を工夫したゲームを取り入れ，バット操作やボール操作とボールを持たないときの動きに着目させ，学習に取り組ませることが大切である。

［ 34 ］の語群

①　投げる動作　　②　守備　　③　攻撃　　④　打つ動作

［ 35 ］の語群

①　外野　　②　捕球しやすい位置

③　内野　　④　定位置

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、球技［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 36 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 36 ］。

(1) 知識及び技能

～中略～

○　技能

ア　ゴール型

第１学年及び第２学年のボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることをねらいとした学習を受けて，第３学年においては，仲間と連携してゴール前の空間を使ったり，空間を作りだしたりして攻防を展開できるようにする。

指導に際しては，仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだしてゴール前へと侵入する攻防を中心に自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて，［ 36 ］を重視した練習やゲームを展開し，ボール操作とボールを持たないときの動きに着目させ，学習に取り組ませることが大切である。

［ 36 ］の語群

①　得失点の攻防　②　守備から攻撃　③　セットプレー　④　広い空間

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、球技の内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ 37 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 37 ］。

内容の取扱い

～中略～

(ｱ)　球技の領域は，第１学年及び第２学年においては，全ての生徒に履修させることとしているが，第３学年においては，球技及び［ 37 ］のまとまりの中から１領域以上を選択して履修できるようにすることとしている。

したがって，指導計画を作成するに当たっては，３年間の見通しをもって決めることが必要である。

［ 37 ］の語群

①　器械運動　②　水泳　③　武道　④　ダンス

kyosai-guild.jp

〔10〕　武道について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ア］、［イ］、［ウ］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［38］。

> **(1) 知識及び技能**
> ～中略～
> ○　**知識**
> ～中略～
> **その運動に関して高まる体力**では、武道は，それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることを理解できるようにする。例えば，武道を［ア］することで，柔道では主として瞬発力，［イ］，巧緻性など，剣道では主として瞬発力，［ウ］，巧緻性など，相撲では主として，瞬発力，巧緻性，柔軟性などがそれぞれの技に関連して高められることを理解できるようにする。

①　ア　継続　　イ　筋持久力　　ウ　敏捷性
②　ア　継続　　イ　筋力　　ウ　全身持久力
③　ア　経験　　イ　筋持久力　　ウ　全身持久力
④　ア　経験　　イ　筋力　　ウ　敏捷性

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の思考力，判断力，表現力等について示されているものの一部である。

［39］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［39］。

> **(2) 思考力，判断力，表現力等**
> ～中略～
> <例示>
> ～中略～
> ・［39］の程度，性別等の違いを踏まえて，仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け，仲間に伝えること。

［39］の語群

①　情報活用能力　②　体格や発達　③　技術や知識　④　体力や技能

kyosai-guild.jp

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、武道［第１学年及び第２学年］の学びに向かう力，人間性等について示されているものの一部である。

［ 40 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 40 ］。

> **(3) 学びに向かう力，人間性等**
>
> ～中略～
>
> 指導に際しては，生徒自身が公正，協力，責任，参画，［ 40 ］の意義や価値を認識し取り組もうとする意欲を高めることが求められることから，意義や価値の理解とその具体的な取り組み方を結び付けて指導することが大切である。

［ 40 ］の語群

①　対話　　②　協同　　③　共生　　④　伝統

問４　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、武道［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 41 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 41 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**知識**
>
> ～中略～
>
> また，武道においては「礼」を重んじ，その形式に従うことは，自分を律するとともに相手を尊重する態度を形に表すことであり，その自己制御が人間形成にとって重要な要素であることを，［ 41 ］と関連付けて指導することが大切である。

［ 41 ］の語群

①　思考力，判断力，表現力等　　②　学びに向かう力，人間性等
③　技の習得　　④　伝統的な行動

kyosai-guild.jp

〔11〕　ダンスについて、次の各問いの問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、ダンス［第１学年及び第２学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 42 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 42 ］。

> **(1) 知識及び技能**
>
> ～中略～
>
> ○　**知識**
>
> **ダンスの特性**では，ダンスは，仲間とともに感じを込めて踊ったり，イメージを捉えて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動であること，［ 42 ］を豊かにすることを重視する身体表現であることを理解できるようにする。また，現在では，様々なダンスが世界や人種及び障害の有無等を超えて世界の人々に親しまれていることを理解できるようにする。

［ 42 ］の語群

①　感情表現	②　他者とのコミュニケーション
③　心	④　感性

kyosai-guild.jp

問２　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、ダンス［第３学年］の知識及び技能について示されているものの一部である。

［ 43 ］、［ 44 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 43 ］、［ 44 ］。

(1) 知識及び技能

～中略～

○　技能

～中略～

指導に際しては，表したいテーマにふさわしいイメージを捉え，即興的に表現したり，個性を生かした簡単な作品にまとめたりして踊るようにできることが重要となるため，①表したいテーマの例を具体的に示して，取り組みやすいテーマを選んで即興的に表現する。

～中略～

①の学習の段階では，次のような活動を参考に行うようにする。

・表したいテーマと題材や動きの例示を参考にしてテーマを設定したり，これまで取り組んだテーマから表したいテーマを各自で選んだりする。その際，取り組んでみたいテーマや題材や動きなどでグループを組み，思いついた動きを即興的に表現したり，仲間の動きをまねたり，［ 43 ］にしたりしてみるなどの活動を取り上げる。

・テーマにふさわしい［ 44 ］の構成で，一番表現したい主要場面を創る。

［ 43 ］の語群

①　少しずつずらした動き（カノン）　②　関連付けた動き
③　一斉の同じ動き（ユニゾン）　④　ひと流れの動き

［ 44 ］の語群

①　グループ　②　個や群　③　多様な動き　④　ものを使う動き

kyosai-guidip

問３　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、ダンスの内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ 45 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 45 ］。

内容の取扱い

～中略～

(ｳ)　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する観点から，必要な知識及び技能の定着を図る学習とともに，生徒の思考を深めるために発言を促したり，気付いていない視点を提示したりするなど，学びに必要な指導の在り方を追究し，生徒の学習状況を捉えて指導を改善していくことが大切である。

その際，互いに教え合う時間を確保するなどの工夫をするとともに，指導事項の精選を図ったり，運動観察のポイントを明確にしたり，ICTを効果的に活用したりするなどして，［ 45 ］することが大切である。

［ 45 ］の語群

① 体を動かす機会を適切に確保　② 生徒が考える時間を適切に確保
③ 振り返りを充実させて指導　④ 学習環境を整えて指導

kyosai-guild.jp

〔12〕　体育理論について、次の各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体育理論［第１学年及び第２学年］の運動やスポーツの多様性について示されているものの一部である。

［ 46 ］、［ 47 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、それぞれの語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 46 ］、［ 47 ］。

○　**運動やスポーツの多様性**

ア　知識

～中略～

(ｲ)　運動やスポーツへの多様な関わり方

運動やスポーツには，「する，見る，支える，知る」などの多様な関わり方があることを理解できるようにする。

運動やスポーツには，直接「行うこと」に加えて，「見ること」には，例えば，テレビなどのメディアや競技場等での観戦を通して［ 46 ］を味わったり，研ぎ澄まされた質の高い動きに感動したりするなどの多様な関わり方があること，「支えること」には，運動の学習で［ 47 ］したり，大会や競技会の企画をしたりするなどの関わり方があること，「知ること」には，例えば，運動やスポーツの歴史や記録などを書物やインターネットなどを通して調べる関わり方があること，などの多様な関わり方があることを理解できるようにする。

［ 46 ］の語群

①　一体感　　②　臨場感　　③　緊張感　　④　達成感

［ 47 ］の語群

①　他者の学習を分析　　②　仲間の動きを観察

③　仲間の学習を支援　　④　ICT を活用

kyosai-guide.jp

問2　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体育理論［第１学年及び第２学年］の運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について示されているものの一部である。

［ 48 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 48 ］。

○　**運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方**

～中略～

ウ　学びに向かう力，人間性等

～中略～

運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方を理解することや，意見交換や学習ノートの記述などの，思考し判断するとともにそれらを［ 48 ］する活動及び学習を振り返る活動などに積極的に取り組むことを示している。

［ 48 ］の語群

①　情報処理　　②　活用　　③　言語化　　④　表現

問3　次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　保健体育編（平成29年７月）」の中で、体育理論の内容の取扱いについて示されているものの一部である。

［ 49 ］に当てはまるものとして最も適切なものを、後の語群の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 49 ］。

内容の取扱い

～中略～

(ｳ)　「H体育理論」の内容に加え，各領域との関連で指導することが効果的な各領域の特性や成り立ち，技術の名称や行い方などの知識については，各領域の「(１)知識及び技能」に示すこととし，知識と技能を相互に関連させて学習させることにより，知識の［ 49 ］しているため，この点を十分考慮して指導する。

［ 49 ］の語群

①　必然性が共有できるように配慮

②　重要性を一層実感できるように配慮

③　必要性を理解しやすくなるよう工夫

④　習得がより一層効果的に行えるよう工夫

kyosai-guild.jp

令和７年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験
教科専門試験［中学校　保健体育］　　正答及び配点

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	①	③	②	③	④	①	④	③	①	②
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	②	③	①	③	④	①	②	①	②	④
配点	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	④	③	①	③	②	①	④	②	③	①
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	③	②	②	③	④	①	③	①	④	③
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	③	②	④	②	①	①	③	④	②	
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

kyosai-guild.jp